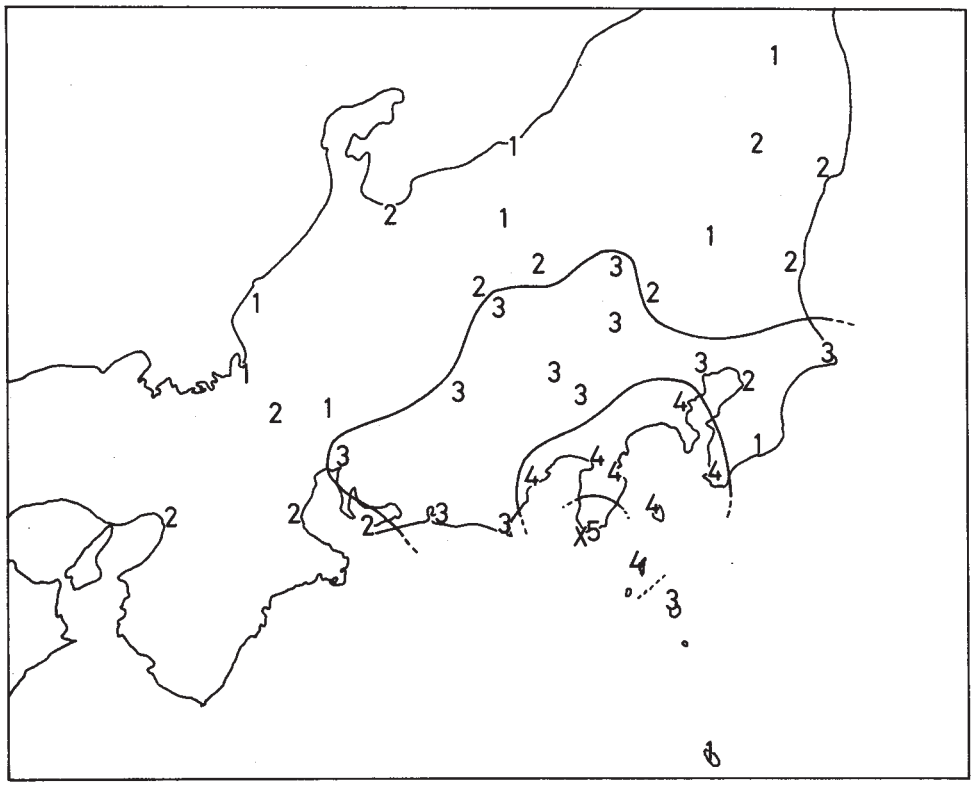
3－13　1974年伊豆半島沖地震について

On the Earthquake off Izu Peninsula, May 9, 1974

気象庁　地震課・地震活動検測センター
Seismological Division and SAMC
Japan Meteorological Agency

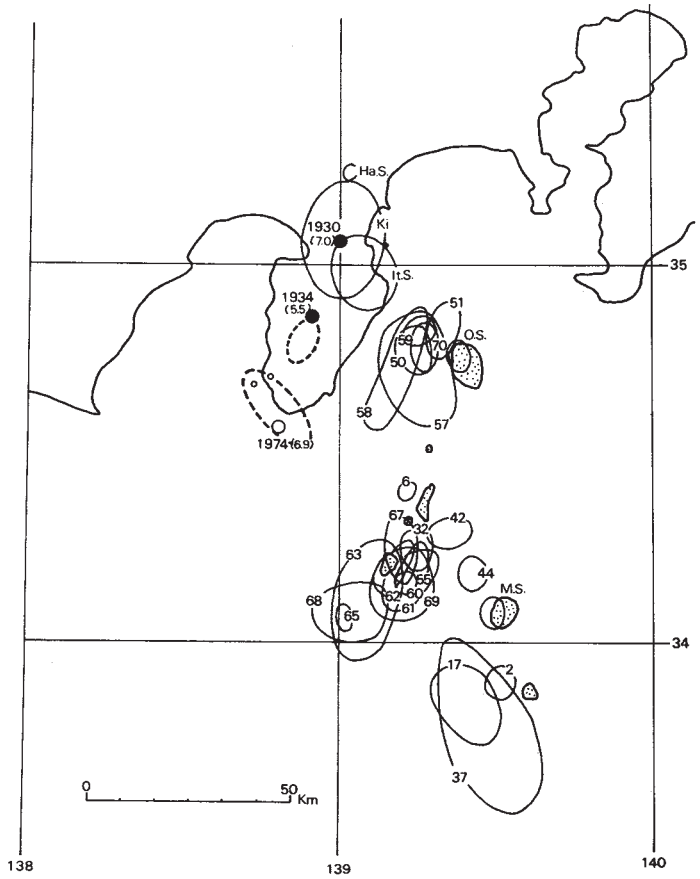
5月9日8時33分に伊豆半島沖の東経138度48分，北緯34度34分に震源の深さ10Kmマグニチュード6.9の地震が発生した。震度分布は第1図のとおりで，震源にもっとも近い石廊崎では震度5で，震源が伊豆半島の南端に近く，しかも浅い地震であったため，震源の真上に近い伊豆半島南部では局地的に大被害が発生した。この地震による津波は御前崎などの一部の検潮儀に極くわずかに記録された程度であった。

同地方に発生した歴史的地震と今回の本震ならびに余震の関係位置は第2図で，今回の地震は同地方に発生しやすい群発地震の発生域とやや離れた地域に発生した。本震と最大余震のMの差が大きかったのも，このような地帯構造と関係があるものと思われる。また，発震機構は第3図で，地震断層の動きとよい一致を示している。余震の震央分布は本震から西北西にのびる節線に沿うものと，翌10日の早朝から発生しはじめ11日夜間に特に活発化した本震に誘発されて発生したと思われる天城峠の地震群とがある（第2図，第4図，第5図）。これらの地震は第4図，第6図のように多少の変動を繰返しながら減少に向っている。しかし，天城峠の地震は伊豆半島東岸の群発地震の発生しやすい地域に隣接していて，7月9日17時52分にも地震が発生し余震を伴なっている。



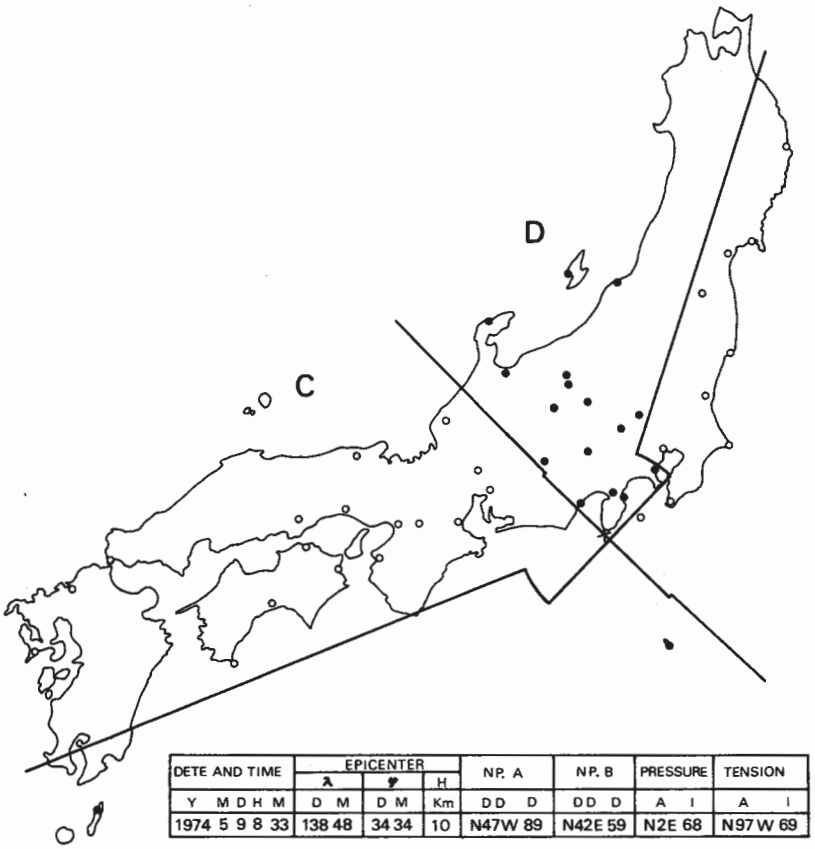
第１図　1974 年伊豆半島地震震度分布図

Fig. 1　Distribution of seismic intensities ($08^h 33^m$(JST), May 9, 1974).



第２図　過去の地震の分布と 1974 年５月９～31 日の余震域（点線で示す）

Fig. 2　Distribution of past earthquakes and the aftershock region of May 9－31, 1974(shown by dotted line).



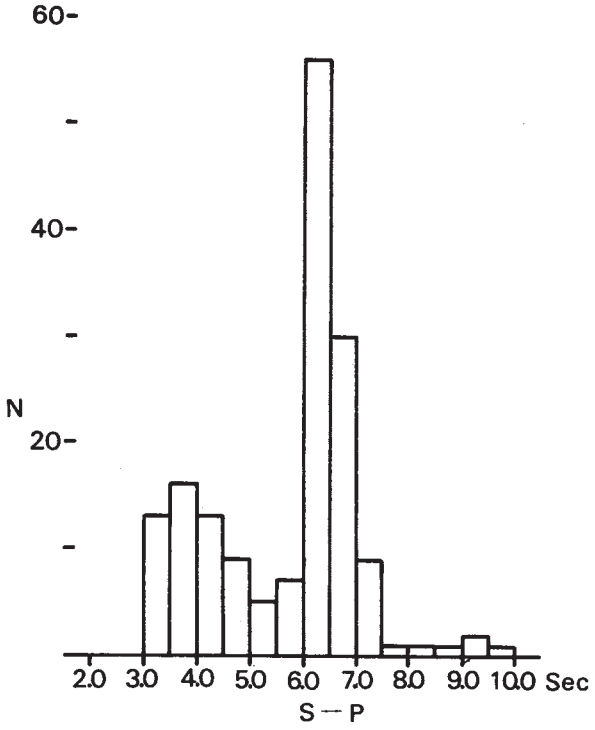
第3図　初動分布

Fig. 3　Distribution of compression (C) and dilatation (D) of the initial motions ($08^h 33^m$ (JST), May 9, 1974).

月 日 / S−P(秒)	5月 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	6月 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
2.0 ～ 2.4																																											
2.5 ～ 2.9																																											
3.0 ～ 3.4		1	1	5	1	1			3															1																			
3.5 ～ 3.9			5	4	3		1		2	1																																	
4.0 ～ 4.4		5	2	2		1				1															2																		
4.5 ～ 4.9		1	1	2				1			1	1																				1				1							
5.0 ～ 5.4	1							1							1		1																		1								
5.5 ～ 5.9	3		1	1				1												1																							
6.0 ～ 6.4	27	5	3	4	2	1		1		3	1	1	1			1	1								1		1	1	1													1	
6.5 ～ 6.9	16	4	2	2							1				3	1	1																										
7.0 ～ 7.4	3	1				1			1					1																													
7.5 ～ 7.9	1																																										
8.0 ～ 8.4									1																																		
8.5 ～ 8.9	1																																										
9.0 ～ 9.4																					2																						
9.5 ～ 9.9				1																																							

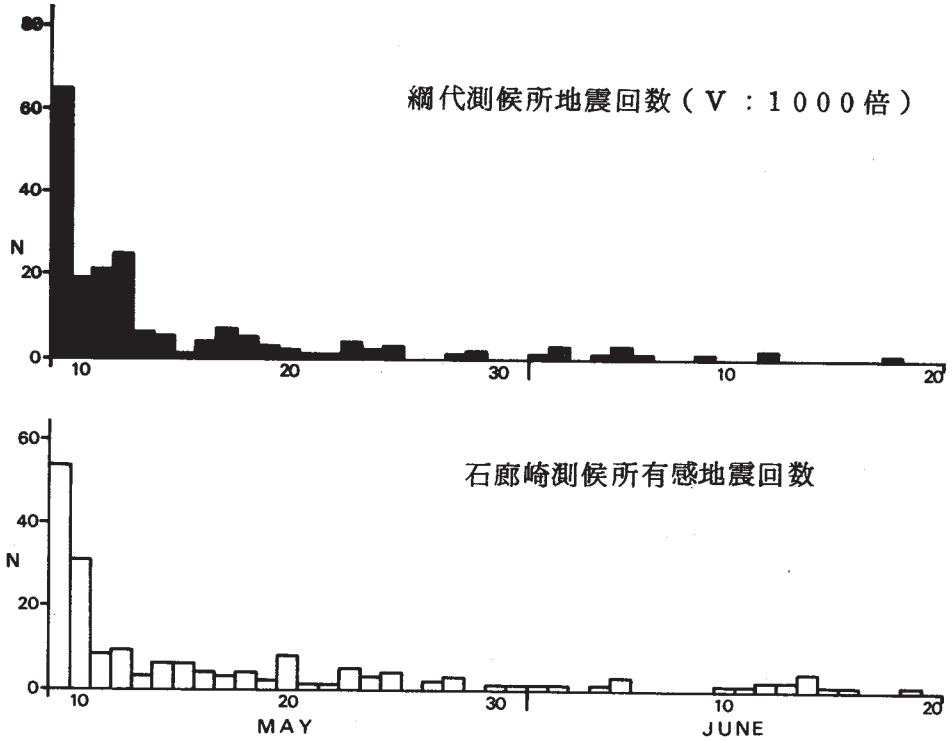
第4図　綱代測候所で観測したP～S分布とその変動

Fig. 4　Distribution of S−P times observed at Ajiro and its daily variation.



第５図　綱代で観測したＳ～Ｐ分布（５月９日～６月20日）

Fig. 5　Distribution of S - P times observed at Ajiro
(May 9－June 20, 1974).



第６図　余震の日別回数

Fig. 6　Daily number of aftershocks.